**消防計画　　　　年　　月　　日より**

|  |
| --- |
| **１　自衛消防隊の設置及び組織****119番通報するとともに建物内にいる者へ火事を伝える。****自衛消防隊長****（　　　　　　）****副隊長****（　　　　　　）****各従業員****（　　　名）****避難誘導と早期の避難開始。****水バケツ、消火器により初期消火をする。****役職名でも可** |
| **２　避難計画概要** | **（記入例）**１階**玄関****非常口****（２方向避難の確保）** | **※別紙添付でも可** |
|  |
| **３　避難経路の確保等** | **４　避難及び避難誘導** |
| **避難経路等の確保は次のとおり行う。****①階段、廊下には物品を置かない。****②避難経路となる部分は常に整理整頓し、避難の支障にならないようにする。****③非常口は施錠しない。****④防火戸は正常に作動するよう平素から機能保持に努める。****⑤防火戸の前に物品を放置しない。また、防火戸はくさび等で固定しない。****⑥その他、平素から避難経路を確保する。** | **①大声で皆に知らせる。****②物品の持ち出しに気をとられない。****③避難後は燃えている建物に戻らない。****④落ち着いて避難経路を考える。****⑤避難器具の使用も考える。****⑥必要に応じて、タオル、マスク等を使用する。****⑦いたずらに騒ぎ立てない。また、無秩序な行動をとらない。****⑧逃げ遅れた者がいないかを確認する。** |
| **を実施****該当する番号を記入****（例．①、②、⑤を実施）****以下同じ。** | **を実施** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **５　通報連絡** | **６　消火活動** | **７　消防隊誘導** |
| **①非常ベルを鳴らす。****②119番通報をする。****③社内（店内）の電話が使用できない****場合の通報手段を考えておく。****④通報の内容は「火事です。場所は****です。****近くに　　　　　があります。大きく燃えています（少し煙が出ています。）。」等とする。** | **①大声で皆に知らせる。****②叩き消し、水バケツ、砂等を使用する。****③消火器を使用する。****④天井に燃え広がったときは初期消火を止めて避難する。****⑤火を見ても慌てず落ち着いて行動する。** | **①消防車両を誘導する。****②消防隊員を誘導する。****③消防隊員に出火場所、避難状況（要救助者の有無）、危険物品の存否、その他消火活動上必要な情報を伝える。** |
| **を実施** | **を実施** | **を実施** |
| **８　避難・通報・消火訓練計画** | **消防訓練の内容は次のとおりとする。****①消火器訓練（消火器による模擬火災の消火をする。）****②水バケツ、水道ホースによる消火訓練（身近にある水を利用する訓練を行う。）****③社内（店内）電話による119番通報訓練。****（加古川市消防本部（079-424-0119）へ直前に連絡する。）****④避難訓練（避難器具の使用、非常ベルの使用、各室内から扉、窓を閉鎖しての避難訓練を行う。）****⑤総合消防訓練（消防隊と協力して訓練を行う。）** | **訓練実施上の注意事項****①年１回実施する。****②年２回以上実施する。****③消防訓練は写真等で出来るだけ記録しておく。****④特に避難訓練については安全上の配慮を行う。** |
| **を実施** | **を実施** | **実施日** |
| **月****月** |
| **９　消防用設備等点検計画** | **①消防用設備等の外観点検及び機器点検を６カ月毎に実施し、総合点検を１年毎に実施する。（法定点検）****②①の点検結果を毎年　　月に消防署へ提出する。****③①の点検結果を３年に１度　　月に消防署へ提出する。****④上記の法定点検は自社で行う。****⑤上記の法定点検は委託により行い、その委託先は右のとおりである。****⑥平素から消火器等の異常の有無を確認する。** | **消防用設備等（設置は○印）** |
| **消火器** |  | **避難器具** |  |
| **非常ベル** |  | **漏電火災警報器** |  |
| **自動火災報知設備** |  |  |  |
| **誘導灯** |  |  |  |
| **設備名** | **点検委託業者** |
|  |  |
| **を実施** |  |  |
| **10　火気管理等** | **①部署ごとに火元責任者を定め、法令の定めるところにより喫煙、裸火、厨房、ボイラーなどの火気管理を行わせ、その業務範囲を明確にしておく。****②日常的に消防用設備等の自主検査を行う。また、自主検査の方法や点検事項については社内（店内）防火規則に定める。****③防火管理維持台帳を常に整理し、防火管理について必要な記録をする。** | **11　防火防災教育** | **次の事項に係る教育を全従業員等へ適時実施する。****①従業員等が守るべき事項。****②火災発生時の対応方法。****③地震時の対応方法。****④消防計画に定める事項。** |
| **を実施** | **を実施** |
| **12　地震対策** | **①地震発生直後は身の安全を確保し、二次災害防止のため速やかに使用中の火を消火する。****②火気の使用は、揺れが収まり火気使用設備・器具の安全が確認できた後に行う。****③自主的に又は防災機関の避難勧告等により避難する。****④震災に備え、医薬品、携帯ラジオ、飲料水等の必要品を備える。** | **特記事項** | **※緊急連絡先（夜間等連絡の取れるもの）****・氏名又は委託業者名****・電話番号** |
| **を実施** |